

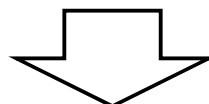
平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)									
事業名	地域生活支援拠点等整備推進モデル事業			担当部局庁	障害保健福祉部			作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	障害福祉課			田中佐智子	
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	地域生活支援拠点等整備推進モデル事業の実施について(平成27年4月9日障発0409第10号)等				
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の高齢化・重度化等の対応や障害者の自立等の生活環境の節目(変化点)において、障害者が地域社会の中で安心して暮らしていける社会の実現を目指し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)地域生活支援のためのサービス提供体制の立ち上げ支援施設・病院からの地域生活への移行支援、地域生活の継続支援といった様々な課題に対応し、地域の実情に応じて創意工夫を凝らし障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築していくため、先駆的・先進的に取り組もうとする市町村等に対して、サービス体制整備のためのモデル事業を実施する。 (2)モデル事業の効果検証・取組の情報発信事業実施の効果検証や事業実施により得たノウハウを報告書として作成し、全国へフィードバックし、その普及啓発を図る。								
実施方法	補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	25	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	25	0		
	執行額	-	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由	定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績							
	地域生活での課題や利用者のニーズなど、地域の実情により必要なサービス提供体制は異なるため、定量的な目標の設定は困難である。	障害者が地域生活の中で安心して暮らしていける社会の実現を目指し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス体制の構築							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度
	地域生活支援拠点等の普及に有用なモデル事例の収集	地域生活支援拠点等の普及に有用なモデル事業の数	実績	-	-	-	-	-	-
	-	-	目標値	-	-	-	-	10	-
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	モデル事業の実施箇所数			活動実績	-	-	-	-	
	-			当初見込み	-	-	-	10	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	当該事業の執行額/事業実施主体数			単位当たりコスト	千円	-	-	2,500	
	-			計算式	(X)/(Y)	-	-	25000÷10	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	地域生活支援拠点等整備推進モデル事業	25	-						
	計	25	0						

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することは喫緊の課題であり、国において先駆的・先進的に取り組もうとする市町村等に対してサービス提供体制の拠点整備を図るためのモデル事業を実施することは優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国費で1/2を補助することにより、円滑な事業開始を支援するための事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することは喫緊の課題であるため優先度の高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果					
	改善の方向性					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	新27-048			

厚生労働省

25百万円

市町村等に対する補助(10カ所)



市町村等(10カ所)

25百万円

障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築するため、先駆的・先進的に取り組む市町村等に対して、サービス体制整備のためのモデル事業の補助を実施。事業実施の効果検証や事業実施により得たノウハウを、全国へフィードバックし、普及啓発を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位:百万
円)

